

京都食ビジネスプラットフォーム 令和7年度 第1回全体会

多様化する消費者ニーズに応えるため、地域の様々な主体が連携するオープンイノベーションが求められています。
この連携のきっかけとなる全体会を今年も開催します。参加費は無料です。
プラットフォームでの伴走支援にもつながります。
皆様、ぜひこの会で新たな企業連携をスタートしましょう！

第1部 プラットフォームの取組

- ・今年度の取組予定
 - ・全国LFP事務局講演
 - ・他県のLFP事例紹介
- ～4年間のLFPながのの取組実績から学ぶ、LFPの重要性～



■ スピーカー ■

株式会社産直新聞社 代表取締役社長 毛賀澤 明宏 氏

毛賀澤氏は、農林水産省認定「地産地消の仕事人」および「地産地消コーディネーター」として、地域資源を活かした6次産業化や農商工連携の推進に長年取り組んでこられました。2013年に情報誌『産直コペル』を発刊し、農業・6次産業化に関わる情報を全国に発信し、2021年より長野県の地域食農連携プロジェクト（LFPながの）事務局を務め、食・農・流通事業者をつなげる役割を担っています。その他にも、全国および県レベルの委託事業において多数の企画・運営実績を有しています。直売所・道の駅・加工所の立ち上げや経営改善指導、市町村・集落単位での6次産業化の企画運営、長野県農村RMO伴走支援など中山間地域における地域活性化の多岐にわたる分野で活動しています。
特に、LFPながのでは、開放性のある第1層のプラットフォームの上に専門性の高い第2層のプラットフォームを重ねる2層構造を提案し、特色ある取り組みを進めています。

第2部 ワークショップ

参加者に互いを知り合っていただく目的です。テーマ別にグループを編成し、各テーマについて「食」を切り口に、皆様の技術や資源をもとに何ができるか話し合います。

※事務局が司会に入りますので、グループ運営の負担はありません。

✦参加申込時にA～Eの中から参加希望テーマをお選び下さい✦

- | | |
|--------------|-----------------|
| A 「京都ブランド活用」 | B 「地域活性化」 |
| C 「健康維持・増進」 | D 「SDGs」 E 「輸出」 |